

2021年6月19日（日本時間）論文投稿締切，2022年5月号掲載予定

電子情報通信学会は，情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEEICE Transactions on Information and Systems の2022年5月号において，データ工学と情報マネジメント小特集（Special Section on Data Engineering and Information Management）を掲載致します。本小特集は，タイトルに関連する分野の幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集します。

1. 対象分野

対象となる分野は以下の通りですが，これに限定せず広くデータ工学と情報マネジメントに関連する論文の投稿を歓迎します。

- ・データ工学：ファイル編成・ストレージ技術，問合せ処理・言語，トランザクション処理，データモデル・データモデリング，クラウドコンピューティング，並列・分散データベース，P2Pシステム，マルチメディア・時間・空間・モバイル・センサデータベース，データウェアハウス，OLAP・データマイニング，XML・半構造データ，ストリーム処理，ビッグデータに対するスマートコンピューティング，スマートコンピューティングに対する基盤及びプラットフォーム
- ・情報マネジメント：クラウドソーシング，メタデータ，セマンティック Web，情報配信・データ放送，電子商取引，eラーニング，プライバシー保護のためのデータ管理技術，コンテンツ処理，Web情報システム，情報検索・情報抽出，情報要約，デジタル図書館，データ可視化とユーザインタフェース，情報推薦・パーソナライゼーション，グラフ管理，ソーシャルネットワーク，情報統合技術，確率的データベース，地理情報システム，科学データベース，ビッグデータ分析とソーシャルメディア

ただし，データ工学と情報マネジメント分野との関連性が著しく低い論文は受け付けません。また，本小特集では，サーベイ論文は受け付けません。

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては，“The Information for Authors”（https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御一読の上，本会の論文スタイル（<https://www.ieice.org/ftp/index-e.html>）にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は，PAPERで8ページ，LETTERで2ページとなります（LETTERは最大4ページまで）。
- ・本会のウェブサイト（https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx）から，投稿原稿 PDF 及びソースファイルの登録をし，著作権譲渡手続きをお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受付できません。御投稿の際は，投稿フォームの“Journal/Section”の項目にて，“[Special-DA] Data Engineering and Information Management”をお選び下さい。
- ・問合せ先：
鈴木 優（岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科情報コース）
Email: ysuzuki@gifu-u.ac.jp
- ・原稿提出の締切りは日本時間 2021年6月19日（土）23:59（厳守）です。

3. その他注意事項

- ・招待論文を含むすべての著者は，論文が採録になった場合，2022年1月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2022年2月15日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しになります。
- ・論文が採録となった場合，掲載料をお支払い頂くことになります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は，通常の60日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し，著者のうち少なくとも1名は，本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は<https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html?id=individual>を御覧下さい。

4. 小特集編集委員会

編集委員長 横山昌平（東京都立大）

編集副委員長 鈴木 優（岐阜大），渡辺知恵美（筑波技術大），金政泰彦（富士通），

編集委員 天方大地（阪大），大塚真吾（神奈川工科大），奥 健太（龍谷大），加藤 誠（筑波大），駒水孝裕（名大），金 京淑（産総研），西田京介（NTT），平手勇宇（楽天），松原正樹（筑波大），山本岳洋（兵庫県立大），湯本高行（兵庫県立大），劉 健全（NEC），若林 啓（筑波大），若宮翔子（奈良先端大）

お問合せなどは編集幹事まで，電子メールにてお願い致します。（件名に「IEICE（DA2021）」とお書き下さい。）

*オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D のすべての論文を，J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には，電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。（オープン化は，

2020年1月以降も継続する予定です。) オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は, “Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい・オープン化とオープンアクセスオプションに関しては, 予告なく変更されることがあります.